29 公埼理第 429 号
平成 29 年 10 月２５日

会員各位

公益社団法人　埼玉県理学療法士会
会　長　　南本浩之
西部ブロック理事　　杉浦恵介
川越エリア長　　吉川貴矩
（公文書番号にて公印省略）

症例検討会 2017（11 月）のご案内

時下、皆様におかれましてはますますのご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、（公社）埼玉県理学療法士会西部ブロック川越エリアにて下記のとおり症例検討会を開催する運びとなりました。多くの施設の先生方が集まり、交流しながら作成してる症例検討会です。完成させるには聴講者の方の意見が必要です。みんなで意見を出し合い学びましょう。お待ちしております。

記

日　時：平成 29 年 11 月 16 日（木）19：00～21：00（受付開始 18：30）
場　所：医学アカデミー　講堂
内　容：口述発表　７題
※ 現在、みんなで作成、頑張っています。
※ 是非、聴講に来ていただき、みんなでディスカッションしましょう。
※ 当日演題名に多少の変更がございます、ご了承ください。
※下記記載は順不同です、当日は発表する順番に違いがございます。

症例検討会
前半 座長未定
１,『起立性低血圧を有する患者に対する弾性ストッキング圧の検討』西部川越病院　石河　裕生
２.『肺炎後の長期 TPPV 管理の ALS 患者に対して側臥位訓練を実施したところ動的肺コンプライアンスの改善が見られた症例』狭山神経内科病院　益盛　章夫
３.『転倒によるＬ1 破裂骨折術後歩行困難となった症例～歩行の再獲得と作業所への復帰を目指して～』埼玉石心会病院　篠田　幸奈
４.『人口股関節再置換術後の ADL 動作指導において、脊柱のアライメント異常を考慮した動作パターンの修正、身体機能の改善を目指した症例』埼玉医科大学総合医療センター　濱田　勇志

後半　座長未定
５.『急性散在性脳脊髄炎を呈した症例について』笠幡病院　菊池　利輝
６.『重度脊髄損傷患者の在宅復帰を目指した包括的アプローチ～介助者の家族指導を通した心理的変化に着目して～』川越リハビリテーション病院　島崎　友博
７.『在宅復帰を目指した包括的アプローチ～依存的な症例に対して経過や背景を考慮して～』大生病院　大野　涼

申 込 方 法
（公社）埼玉県理学療法士会ホームページ（http://www.saitama-pt.or.jp/）の講習会・研修会一覧から「 平成29年度 西部ブロック川越エリア症例検討会 」を選択のうえ、申込フォームからお申

し込みください。

※ 申し込み多数の場合は、一施設ごとの参加者を制限させて頂くこともあります。

※ お断りをする場合のみ、電子メールにてご連絡いたします。

※ 申し込み期間：平成29年10月25日9:00～平成29年11月15日　17:00必着

参 加 費：会員：無料、養成校学生（最終学年）：無料、他県士会会員：1,000 円、その他：5,000 円

お問合せ：申し込み先ではございません。

埼玉医科大学総合医療センター　リハビリテーション部　藪﨑

E-mail：ptseibukawagoe@yahoo.co.jp　　TEL:　049-228-352